

～あさがおかんさつ名人！～

<はじめに>

図書館であさがおのたねをもらったので、たねをまいて、かんさつすることになりました。

<どうやってしらべたか>

- ①毎日観察して、あさがおの大きくなるようすを絵にかきました。
- ②2ほんのあさがおのはっぱのかずを、毎日かぞえました。
- ③2ほんのあさがおの花のかずを、毎日かぞえました。
- ④はっぱ・つる・花・たねをかんさつしました。

<わかったこと>

①子ようがでて、ほんばがでてくるようす *○日目…たねをうえた日が1日目

	12日目 芽がでてきたよ		19日目 ふたばのあいだから、はっぱがでてきたよ
	13日目 子ようがみえたよ		23日目 ほんばがひらいたよ
	14日目 子ようがひらいたよ		30日目 2まい目のほんばがひらいたよ

②ほんばのかずをかぞえたよ

	31日目	36日目	41日目	46日目	51日目	56日目
①ほんば	2まい	3まい	5まい	6まい	9まい	18まい
②ほんば	1まい	3まい	4まい	6まい	12まい	16まい

③花のかずをかぞえたよ(その日にさいた花のかず/その日までにさいた花の数のごうけい)

	66日目	76日目	86日目	96日目	106日目	113日目	ごうけい
①花	1/1	1/10	1/18	1/19	0/19	0/20	20
②花	0/0	1/5	4/30	0/45	2/58	1/67	67

④はっぱ・つる・花・たねのようす

子よう 	子ようには、くぎのほうからふちにむかってたくさんすじがある。さあるとつるつるしていて、あつみがある。それは、いっばいえいようをふくんでいるから。自分でえいようが作れるようになるまで、子ようのえいようをつかって大きくなります。
ほんば 	子ようより大きくて、こまかい毛がたくさんはえていて、虫がつきにくくなっている。よくみると、たくさんあるほんばは、それぞれちがうむきに重ならないようにはえていて、日光をうけやすくなっている。
つる 	つるにも毛がはえている。 つるは、しちゅうにくるくるまきながらのびていて、まき方は、みんな同じで左まき。つるの先には小さなはっぱがある。
つぼみ 	花のめは、はっぱのつけねからのびて、つぼみができている。つぼみは、上から見ると、右むきにくるっとまいていいる。がくにはこまかい毛がはえている。花びらは大きくて、1まい。ぜんぶ、たいようのほうをむいている。花の中には、おしべとめしべがあり、花びらに花ふんがついている。花はあさからさいて、夕方にはしぼんでしまった。青色のあさがおは、あさは青色、お昼になるとむらさき色、夕方にはピンクに色が変わった。
はな 	花の数は、1つのあさがおで、多いほうは、67こさいた。
たね 	花のあとに実ができて、おおきくなった。みどりからちやいろになった。さあてみると中からたねがでてきた。実をまもっていたがくもかれていた。たねを切ってみると、はのようなものがいっばいつまっていた。ひとつの花に5～6このたねが入っていた。

<まとめ>

はっぱ・つる・花・たね、よくかんさつしてみると、虫がつきにくい毛、つるのまく方向、花のまく方向、実をまもるがくなど、あさがおには、めが出てからたねができるまで、虫がつきにくいふう、えいようがしっかりとれるくふうなど、安全に大きくなるためのいろいろなくふうがあることを知ることができた。

そして1つのあさがおから、多いものは、67この花、約300このたねができた。

<なにでしらべたか>

『かんさつ名人になろう！② あさがお』横山正／監修 ポプラ社

『科学のアルバム⑬ アサガオ』佐藤有恒・中山周平／著 あかね書房